



NIITSU Station

ホット

にいつホットステーション

2006. 1 vol.658

発行所 新津商工会議所
〒956-0864 新潟県新潟市新津本町3丁目1番7号
TEL 0250(22)0121 FAX 0250(25)2332
Email : n-cci@fsinet.or.jp
URL http://www.niitsu.or.jp/
編集発行人 里村 進 毎月1回発行



新津駅を出発するSLばんえつ物語号
(写真提供: 荒木正春氏)



国道403号線の菜の花ロード (写真提供: 遠山悦男氏)



平成18年3月末に新潟薬科大学薬学部が新津キャンパスへ完全移転予定



新年のあいさつ

新津商工会議所会頭

馬場 欣一

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり、「今年こそは災害のない平和な良い一年となるように」皆様とともに願いたいと思います。会員の皆様には、日頃、当商工会議所が多なるご支援とご協力を頂き厚くお礼を申し上げます。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

顧みますと、昨年色んなことが起こった年でありました。まず、天災が続きました。パキスタン北部の大地震やアメリカ南部の大型ハリケーンの発生による甚大な被害などは記憶に新しい出来事です。国内でも一昨年十月に起きた「中越大地震」の余震が未だに続いたほか、茨城をはじめ全国各地で中・小規模な地震が連続しました。地球規模で大きな変動が起こっているのではないかと心配されます。

政治問題では、小泉内閣の信を問うための郵政民営化を争点とした衆議院議員の選挙が行われ、自民党が大勝しました。小泉首相が推進する一連の構造改革が国民に支持された結果であり、改革を急ぐあまり、性急に増税路線に走り、我々中小企業や国民にだけ犠牲を強いることのない様に配慮を願いたいものであります。

あくまでも、政府には、国と地方の三位一体改革を含めた徹底した行財政改革を進め、小さな政府の実現に努めてもらうことを要望いたします。

社会問題では、関係者によるマンション等の建築物「耐震強度偽装問題」が大きな社会不安を起しました。「地震大国日本」ではあつてはならない出来事であり、大きな驚きと憤りさえ禁じ得ません。金儲けのためであれば手段を選ばないという「人間のモラルの欠如」は、現在の日本人に蔓延しているのではないかと危惧されます。

さて、日本経済は、一時陰りが出て停滞していたものが、ようやくここに来て「踊り場」を脱し、緩やかな回復基調を続けております。大手企業を中心に業績も好調で、株価も高騰しております。企業部門が改善して、家計部門に波及しつつあり、内需主導型の回復に向かっている様であります。しかし、景気の先行きについては不透明感も多く、原油価格や輸出の動向によっても左右されそうです。また、小泉首相の靖国神社参拝を発端とした中国・韓国と日本のギクシヤクシヤした関係も経済活動に大きな影を落としています。

こうした厳しい状況の中で、当会議所としても着実に諸事業を展開しております。まず、会員や市民のために、金融、経営、税務、新規創業等の相談事業と、第二創業等の各種セミナー・講演会事業やパソコン講座、ホームページ作成等のIT化事業などに力を入れております。金融等の相談事項がございましたら当会議所の経営指導員に何なりとご相談願います。

また、会議所は地域密着活動についても積極的に取り組んでおります。まず、新潟薬科大学関連活動については、同大学に協力するために大学・市・会議所の三者による協議会を引き続き開催して、諸課題を協議したほか、同大学との共催で好評の「バイオ関連講座」を三年継続して実施しました。

また、「まちづくり協議会」の活動についても、数回会議を開催して「政令指定都市」や「まちづくりと産業の活性化」について勉強したほか、「地域審議会」、「行政区画審議会」の審議状況等について意見交換を行いました。昨年三月には、「新しい新潟地域のまちづくりに向けて」と題する提言書を既に新潟地域へ提出してありますが、これからも文化会館、総合体育館の建設問題も含めた「新しいまちづくり」について引き続き積極的に議論を深めるとともに、意見具申や提言活動を展開して参りたいと考えております。

さて、昨年の三月二十一日に、旧新津市が近隣市町村とともに新潟市に合併して新生新潟市が誕生してから早くも九ヶ月が過ぎました。来年の春には、日本海側最初の政令指定都市新潟市が誕生し、八つの区からなる分権型市政が行われる予定になっております。新潟地域が属する「五区」も、必ずや、地元企業や住民にとって望ましい「区制」が敷かれるものと期待しております。

政令指定都市が実現するまでのこれからの一年数ヶ月は、当会議所にとつても大変重要な時期となります。中心商店街の活性化や新しい区内の交流も展望したまちづくりの問題など、山積する諸課題に積極、果敢に取り組んで参りたいと考えております。

これからも、地域総合経済団体として、会員のサポートと地域の発展のために努力して参りますので、今後とも皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

皆様方には、この厳しい状況に打ち勝って、今年一年がますます充実した年となるようにご期待申し上げますとともに、ご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて年頭のご挨拶いたします。